タウンニュース
まちのできごと

9/30（水） 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の方とその家族を温かく見守り支える「認知症サポーター」を養成する講座が、町内各小学校で実施されました。

同講座を茨城町で初めての実施となる長岡第二小学校の５年生たちは、茨城町社会福祉協議会と包括支援センターの職員による認知症の概要および茨城町における現状の説明を受けるとともに、実技を交えて認知症の方との接し方を学びました。

講座を受講した児童たちは、「認知症の方を見かけたら優しく声をかけてあげたい。」「家にひいお婆ちゃんがいるので、今日学んだことを家族にも話そうと思う。」と認知症サポーターとしての第一歩を踏み出しました。

10/4（日） 地域を守る消防団 茨城県消防ポンプ操法競技大会４位入賞

茨城県立消防学校（長岡）において、消防ポンプ車を使用した消火活動の腕前を競う第66回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会が行われました。

同大会には６市町から自動車ポンプの部に10チーム、小型ポンプの部に３チームが参加。茨城町からは第１分団（長岡地区）が自動車ポンプの部に出場しました。

選手たちは応援に来た家族や消防団の仲間たちから声援を受け、迅速な行動とチームワークで見事４位入賞を果たし、さらに２番員の雨谷選手（写真前列左から３番目）は個人賞を受賞しました。

選手紹介（第１分団）
指揮者　雨ヶ谷祐一　３番員　中川　　健
１番員　小野　翔平　４番員　小沼　淳一
２番員　雨谷　清人　補助員　道川　大樹

10/8（木） 茨城町農業公社 学生を招き農業研修を開催

茨城町農業公社は、茨城町で就農してもらう意欲を高めようと、茨城県立農業大学校の学生29名を招き、研修会を開催しました。

この日は、サツマイモの収穫体験やトマト生産農家との意見交換、ＪＡ水戸の集荷所を見学しました。

茨城町農業公社では、７月19日に鯉淵学園、10月２日には日本農業実践学園の学生を招いて研修会を開催しており、今後も農業を志す学生と農家との交流を通して、新たな町農業の担い手を確保するための取り組みを行っていきます。

10/15（木） 茨城町観光ボランティア活動中！

茨城町観光協会では、今年７月に「茨城町観光ボランティア」を設立し、町内外からの観光客の皆さまに茨城町の魅力を発信しています。

この日は、千葉県佐倉市の「佐倉印旛沼ネットワーカーの会」をお迎えし、４名の観光ボランティア（清水さん、野地さん、中村さん、青山さん）がラムサール条約湿地に登録された涸沼とそこに集う鳥たち、涸沼にまつわる歴史を紹介しました。

広浦周辺のかつての風景と大杉神社にまつわる話をした青山さんは、「茨城町のことをよく知ってもらえるよう丁寧に説明した。今後は町の名産品のＰＲなどにも力を入れていきたい。」と話してくれました。

10/18（日） 涸沼ラムサール条約登録記念 第３回茨城町涸沼環境フェスティバル

涸沼自然公園を会場に、「第３回茨城町涸沼環境フェスティバル」が開催されました。涸沼は今年５月に水鳥を中心とした生物や湿地の保全、そしてワイズユース（賢明な利用）を目的とした国際条約ラムサール条約に登録されており、今回はラムサール条約登録記念となります。

環境フェスティバルでは、フナの稚魚放流や自然観察会、有識者によるパネルディスカッション、小学校で行われている涸沼浄化活動の発表などが行われ、今後涸沼の環境をいかにして守っていくか、どのように活用していくかを再度考える機会となりました。

フナの稚魚放流体験

自然観察会

パネルディスカッション

涸沼浄化の活動報告（石崎小学校）

（写真左から）
山口萬壽美氏（日本鳥類保護連盟茨城県支部長）
小菅　次男氏（茨城生物の会会長）
清水　　澄氏（茨城町水と自然を守る会会長）